



チャリティ「ドキュメンタリー映画1/4の奇跡上映会&山元加津子講演会」お礼

多くの方にお越しいただきました。ありがとうございました。

チャリティの収益は、11月の「第6回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」への遠征費用に使わせていただきます。

チャリティ上映会&講演会～無事開催できました～

実行委員長 中村 晴文

2月1日(土)、長野市若里市民文化ホールにて今回のイベントを無事終える事ができ安堵しております。

今回の企画は、長野支部ファミリーから3年ほど前に提案され準備をしておりました。

スペシャルオリンピックス日本・長野が主催、実行委員会主管で進める形を伊澤理事長にお願いをして、第一歩を歩み始めました。

チケットの販売価格の決定、入場者数の目標、経費の予想見積もりなど、経験した事の無い事ばかりで実行委員会の間では時間だけがただ過ぎていきました。

その中で、長野支部ファミリーの皆様には応分の負担をお願いし、ファミリー会計からも運転資金として借入をする事によってチラシ、チケット、看板等の事前準備を支障なく進める事ができました。

最も重要なチケットの販売は、ファミリーが頑張っただけの配布を通じての広報活動をしているのにも関わらず結果がでないまま、あっというまに年を越してしまいました。

年明けすぐの実行委員会の会議のなかで、伊澤理事長から助言を頂き、すぐに長野支部以外のファミリー、コーチ、ボランティアなど主だった方々に実行委員から直接お願いをしてまわりました。

お願いした皆様のご協力は、私達実行委員会にとってうれしい追い風となって販売枚数を着実に伸ばす事ができ、本当に有難うございました。

時期を同じくして、広報活動が浸透してきて一般の方のメール、電話での予約が少しずつ入り始め、ファミリーからも販売実績の報告が入るようになってきました。

当日は心配した天候も穏やかで多くの方々に来場していただき、目標以上の収益を上げる事ができました。過日、事務局に全額をお渡ししてまいりました。

当日には多額の募金も集まり、実行委員会としても嬉しい誤算となりました。

長野支部のアスリート、ファミリーには受付、駐車場の誘導・整理、会場内の案内、場内アナウンス等、当日の大事な仕事をさせていただきご苦労様でした。

特にアスリートは、日常プログラムでの比較的人数での活動と違い多くの来場者の皆様の中でも堂々と役割をこなしていて、頼もしい姿を見ることができました。

上映中や講演会中も、アスリートが全員で鑑賞している姿にファミリーの一員として誇らしく思いました。

最後に、未熟な実行委員長を盛り立てて頂き、上映会&講演会が大成功に導くことができたのも、関係各位の皆様のおかげと感謝すると共にお礼申し上げます。



ファミリー 小山 香

久しぶりに長野のファミリーが中心になり、チャリティ講演会を企画しました。

SOの活動資金のお役に立てればと思い、以前お話を聴いて感動した山元先生にお願いしようと思いすぐ申し込んだのですが、私のような人が沢山いて、3年かかってようやく実現しました。

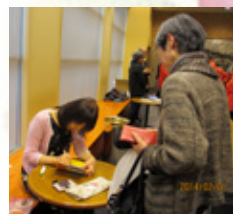
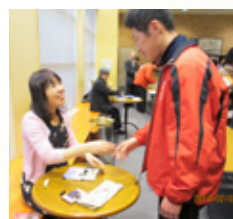
実行委員長の中村さんが素晴らしいパンフレットにしてくれたので、山元加津子さんについては一目瞭然かと思うのですが、彼女は、見た目と活動のギャップに皆驚く程の繊細できゃしゃな女性です。そして、彼女の講演は、行く先々で大きな感動を呼んでいます。

具体的な話を沢山して下さいましたが、私が驚いたのは同僚の教師が脳幹出血で植物状態になり、回復が見込めない中、毎日病院に通い続け、絶対良くなると信じ続け、意思伝達ができるまでに回復。私は3年前までの状態を聞いた時びっくりしたのですが、それから3年経ち、計6～7年で車椅子で動ける程度まで回復していました。今それが映画にもなり、各地巡回しているということです。

植物状態のままで回復は無理と言われた人がどうしてここまで良くなったのか。彼女はどんな人でも必ず何らかの形で心を通わすことができると信じて、様々なやり方を通してひとすじの光を見つけ出していきます。日々の積み重ねとは言え、どうしてここまで思いを形にして行動できるのか！私には答えは見つかりませんが、1つでも相手の気持ちを添える努力をしてみよう。もしかしたら、見えないものが見えるときがあるかもしれないから。会場に足を運んでくださった皆さんは、どんなことを感じられたでしょうか？

チケットの売れ行きは、当初は心配もありましたが、各支部の協力や、当日になって多くの方々が来てくださり、席の大部分が埋まり大盛況でした。

これからも、子どもたちの為にファミリーは様々な形で協力していかなければなりません。親も年を重ね限界もあります。皆で知恵を出し合い、SOの活動を支えていければと思っています。



「ヤングアスリートプログラム」開催しました！

コーチ 丸山 信子

みなさん！ こんにちは！

しばらくお休みをいただきありがとうございました。

今後は、みなさまにお会いするために、少しずつではありますが、いろいろなところに顔をだしますので、よろしくお願いいたします。

そんな中、昨年7月に富山県で開催されたヤングアスリートプログラムのコーチクリニックに一家4人で参加してまいりました。

人は、たくさんの可能性がある中で、小さい頃から色々なことにチャレンジすることの大切さを学びました。

SON・長野事務局の協力のもと、昨年10月からヤングアスリートプログラムを始めました。

ここでヤングアスリートプログラムを簡単に紹介します。

通常のスペシャルオリンピックス日本のトレーニングは、6歳からの参加となりますが、ヤングアスリートプログラムは2歳から7歳の子どもが対象となります。楽しめる活動であることを一番大切にしています。子ども達は楽しみながら参加することで、身体機能や視覚と手の協調運動を発達させます。

また、いろいろなスポーツや将来のSO活動のために必要な基礎能力の導入ともなります。

今回の参加申込みアスリートは7名、プログラム当日欠席されるアスリートもいましたが、兄弟姉妹、お父さん、お母さんも一緒に参加して下さり、毎回5人から10人くらいで行うことができ

ました。

初めてのことで私はワクワクドキドキでした。アスリートはワクワクドキドキ、そしてハラハラだったことでしょう。伊澤理事長にもお手伝いいただきました（いきなり、トンネル役をしていただきありがとうございました）。

プログラムの始まりは『大きな栗の木の下で〜♪』から入り、歩いたり、はねたり、くぐったり、ボールやフラフープを使ったり、最後は『しあわせなら手をたたこう〜♪』で終了します。

毎回、いろいろな発見、進展があり、次のプログラムがとても楽しみでした。

今回は、1月までの8回のプログラムでみなさまにご協力いただき、無事終了することができました。

春になったら第2回目のプログラムを開催する予定です。

「できること」がたくさんあることをアスリート本人、ファミリーはもちろんのこと、コーチやボランティア、社会の人たちに是非認識していただくよう今後もヤングアスリートプログラムを続けていきたいと思います。

ほかのプログラム同様、アスリート、ファミリー、ボランティア多くの方の参加をお待ちしております。



スキープログラム

ヘッドコーチ 中沢 朝幸

2月9日（日）第5回スキープログラムが佐久スキーガーデン北パラダにて午後2時から4時半迄開催しました。

アスリート7名、ファミリー4名、ボランティア6名の参加。通常はアスリート。ボランティア共に10人ずつ位の参加があります。スキープログラム登録者はアスリート16名、ボランティア15名（内認定コーチ6名、地元スキークラブより4名）。

スキー場の賑わいと安全、そして何よりアスリートとのふれあいを大切に考えマンツーマンの指導を目標としています。

平成20年より今シーズンで7年目を迎え、ほとんどのアスリートが初めてSOでスキーを体験し、今では半分以上が全コースを滑れるようになりました。

あるアスリートは最初休憩で軽食を取るとそれでプログラムが終了してしまいましたが、今ではスキーも楽しくてスキー場に到着した時点で持って帰るように予約をして最後まで滑るようになったり、地区大会やナショナルゲームを通して感動のメダル取得や多くの方とのふれあいを楽しみにしているアスリートと、一人ひとり楽しみ方も様々です。

今年は3月2日（日）に開催の佐久市民スキー大会で5名のアスリートが小学生のコース（ナショナルゲームでは中級相当）に初めてオープン参加します。わが地域でもソーシャルインクルージョンが一步一步

広がってきた手応えを感じてきております。

今後も温かく見守っていただいているスキー場の皆さんと多くのボランティアに囲まれアスリートと共に多くの感動体験を重ねていければと思います。



ショートトラック スピードスケートプログラム

コーチ 伊藤 成二

スケートプログラム

は、今年で2年目を迎えました。

昨年は3名のアスリートを迎え、今年は4名で活動をしています。コーチ3名、ア

スリート4名と恵まれた環境で、プログラムを実施できとても充実しています。アスリートの成長が早く皆さん上手に、早く滑れるようになり、大会に出場するのが楽しみです。

コーチとしては、アスリートに滑り方を教える（伝える）のがとても難しく、常にアスリートにあった練習を探しながら、日々のプログラムを行っています。

会場を提供していただいている、やまびこスケートの森様には協力をさせていただき、今年は記録会を実施することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

冬季競技はシーズンがとても短いですが、短期集中で頑張っていきます。

スケートにチャレンジしたいアスリートの皆さん、是非一緒に楽しみましょう。



ゴルフ競技会

2013年9月23日（月）
軽井沢和美ショートコース

SON・新潟の参加も含めアスリート11名、コーチ5名が、日頃の練習の成果を発揮しました。

随円軽井沢ナインハンドレッド倶楽部理事長の伊勢史人様、軽井沢民生委員の由井寿機様にご来賓賜りご挨拶いただきました。また、ボランティア3名のご協力もいただきました。



ボウリング競技会

2013年11月10日（日）
軽井沢プリンスボウル

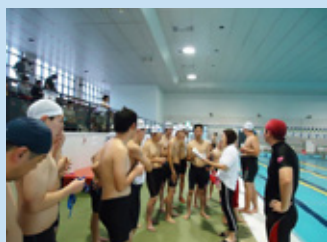
軽井沢支部の日常プログラム会場に県内アスリート42名、コーチ8名が結集。軽井沢プリンスホテルの支配人船山昭博様にご挨拶いただき、身を引き締め大会に臨みました。10名のボランティアの方にもお手伝いいただきました。



「第7回スペシャルオリンピックス日本・愛知夏季地区大会」遠征

2013年11月10日（日）愛知県トヨタスポーツセンター

2013年11月10日（日）早朝5時にバス2台で出発。トヨタスポーツセンターで開催された水泳競技、バスケットボール、テニスの3競技に、アスリート40名、コーチ15名（団長含む）が参加し、メダルを多数獲得しました。



皆さまのご支援・ご協力に感謝いたします

色えんぴつ24号後、2014年2月末現在の実績ですが、万が一記載もれがありましたらお許しください。

寄付・協賛・協力企業、団体、個人

(敬称略・順不同)

セイコーエプソン株式会社 富士ゼロックス長野株式会社 丸美屋食品工業株式会社 有限会社甲信代理店 国際ソロプチミスト佐久 スペシャルオリンピックス日本・長野チャリティ実行委員会		ホクト株式会社 長野大学後援会 上諏訪温泉しんゆ 株式会社ピーエムオフィスエー タヤマススポーツ株式会社		JA長野県グループ 信州ふるさと便事業部 蓼科温泉ホテル新湯 国際ソロプチミスト長野 日本女子大学桜楓会長野支部		株式会社サーキットデザイン 株式会社ティアマリア 諏訪アサノ生コン株式会社 国際ソロプチミスト長野・みすず	
宮澤 昌子 花岡 圭子 佐々木豊子 小出 睦子 松木亜希子 伊澤喜久子	小坂まり子 高島 陽子 石井 久子 綿貫 夕海 塚原美恵子 太田かおり	加藤 敏江 水科 利江 池田喜美子 池宮 和子 澤田紀美子	青木 弘美 内坂由美子 高見澤信恵 島崎 具子 朝岡 美好	武井久美子 小林 敏子 福土美奈子 望月美千代 山田 清美	松井 幸子 諏訪 一子 小田中美果 本田美登利 中村千寿子	西丸 栄 高波 智子 長橋トシ子 大島 直子 宮澤左知子	戸谷 由子 美容室コレット 轟 久美 原田キミ子 渡邊 務

賛助会員

(敬称略・順不同)

長野支部									
関 隆夫	関 明子	関 朗孝	小林はま江						
上田支部									
藤野みさ子	秋山 徳行	佐納美和子	清水 昭二	栗内 公人	長谷川恭子	及木 道隆	佐藤三枝子		
南川新次郎	三井 章子	山崎健太郎	山崎 恵子	春原 寛	沢山千恵子	北沢美智江	高橋 秀之		
水沢 朝子	小林千恵子	平澤 明歩	満木美恵子	松下 澄夫	関 すみれ	高橋 秀幸	大塚 史緒		
保屋野圭志郎	宮澤 裕子	泉田 育	中村のり子	矢部 直	笠原 恵子	竹花 好子	木下 幸一		
小林 俊秋	甲田 文代	高寺 幸	大日方賢一	甲田 泰広	牛山 邦夫	牛山キノエ	渡辺 清美		
竹花 節子	八重沢さみ子	八重沢正明	山崎 竜真	西沢 良子	大矢 直子	横沢 栄子	南波 徹		
河野千加子	宮下 和彦	税理士法人小山会計	(株)ライトプロセス	HOT.HOUSE家美	エルセラー化粧品	山田工業(有)	渡邊 木工		
石井工務店(株)									
軽井沢支部									
小西 等									
松本支部									
小林 寛大									

スペシャルオリンピックス (SO) とは

スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスは非営利活動で、運営はボランティアと善意の寄付によって行われています。スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちをアスリートと呼んでいます。

ダントツのお客様満足の実現を追求する

富士ゼロックス長野は「ドキュメントサービスとコミュニケーションの領域で、お客様に卓越したソリューションを提供し、ダントツのお客様満足の実現を追求する」この目標を経営理念として掲げ、お客様のベストパートナーを目指して日々活動しています。

富士ゼロックス長野株式会社 〒380-0904 長野市七瀬中町161-1 アーバンネット七瀬ビル 北館 Tel:026-227-1231